

研究課題	内容の概要
生ゴミを減らしたい	私たちの班ではまず最初に田名部川の汚染が進んでいるという話となり、川の汚染の理由に生ゴミも関係しているとわかったので、私たちにできることを考え、皆さんに提供し実際にやってもらいたいと考えています。例えば、生ゴミを肥料にしたり、乾燥させてゴミに出したりなどたくさんの活用方法があるとみんなに知ってもらえることで汚染を少しでも減らせると思います。
静電気を利用した発電方法	現在日本では火力発電が主流だがCO2を大量に発生させてしまう。再生可能エネルギーを使って発電すればCO2は発生しない。だが天候などにより発電量が左右されてしまう。そこで私たちは生活の中で自然に発生する静電気を発電に利用できないかと考えた。
教育施設にユニバーサルデザインを導入し	僕たちの班では、教育施設におけるユニバーサルデザインの認知度と普及率の低さを課題として設定しました。教育施設にユニバーサルデザインを導入することでユニバーサルデザインの認知度や普及率がどのように変化するかを研究しています。
虐待件数が増えてきた背景と虐待を減らす	「すべての人に健康と福祉を」のテーマのもと、虐待という問題を取り上げ、その中でも周りから気づかれにくく年々増えている『心理的虐待』について研究します。たくさんの人に虐待を身近な問題と捉えてもらえるよう、少しでも虐待の件数や被害が減るような活動にしたいです。
世界の現状を知ってもらうことで、募金を	世界の現状について書いたポスターを作成し各教室に貼ってもらう。貼る前と後で募金を2回行い、募金をする生徒が増えるのか検証します。募金以外にも世界のためにできることはある！って知ってもらい行動に移してもらえるようにする
ファッションロス	ファッションロスは環境破壊の一つの原因となっており、改善策として寄付などもあるが複数の問題もある。リメイクは再利用可能など数々のメリットがあるため誰でもリメイク出来るような物を考案、作成するそして周知することでファッションロスの減少に繋がると考えた。
最も効果的な一次予防はなんなのか	感染予防対策にはもちろんマスクは重要だけでも本当にマスクをするだけでウイルスを防げているのか、マスク以外にもっと効果的な感染予防対策があるのではないかと気になったので手洗いうがいなど、組み合わせを変えて最も効果的な感染予防対策を調べる
知名度を上げ、住み続けられるまちづくり	むつ市の知名度を上げるきっかけ作りをしたい。良さを知ってもらい観光客、むつに戻ってくる人を増やしたい。むつ市長や学生に協力してもらう。主にYouTubeでPRしTwitterやInstagram、広報誌でも情報発信したい。
貧困をなくすために	貧困を減らすために自分達は何ができるかと考え、募金をする事で貧困を減らせるという考えが出た。また、通常の募金よりも工夫した募金を行うと貧困について興味を持ってくれる人が増え、貧困を減らすことにつながるかということを発表します。工夫した募金についての紹介も詳しく発表します。
高校生の読書離れ	読書をすることによって語彙が増え、想像力が豊かになるなど様々なメリットを得ることができます。僕たちは高校生の読書離れによってこのようなメリットを得ることができないのは深刻だと思いました。そして、高校生の読書離れを解消するために「定期的にポスターを製作し、宣伝すれば田高で読書をする人が増えるのか」という仮説を立て、課題研究をします
地球環境と節電・節水	地球環境とエネルギーについて、節電・節水からアプローチします。便座カバーの使用による便座の暖房の電源OFF、大小レバーの使い分けなど、我々が毎日使用するトイレに注目します。また、便座カバーについては学校などの公共施設で活用等、特に力を入れます。
事故のない平和な日常生活	事故のない平和な日常生活ということで、まずその仮説をたてた理由をいってから先生方から見てもらって了承を得た紙のとうり進んでいき、最後に自分達の作るポスターや、このようによくSDGsに貢献するなどを言ってからまとめて終わります。
植林をすることで、海を豊かにすることは	私たちの班は身近な森と海の関係に着目しました。具体的におつ市内の水質の水質と、水源に生えている植物（主に木）について調べる予定です。実験方法や家庭から排出される水との関係など未定のことはたくさんありますが、出来ることをこなしたいと思います。
LGBTQへの理解を深めるには	私たちは、テレビなどで日本のLGBTQへの理解が浅いことを知り、それを課題として設定しました。理解を深めるためには、自分たちが主体となって正しい知識を広めることが良いと考え、それを元に自分たちで授業を行えばそれが実現されるのではないか、という仮説を立てました。

研究課題	内容の概要
左利きの人に快適な生活を	私たちは身近な不平等をなくしたいという課題から、身近な不平等の中の左利きの不平等に目をつけ、「左利きの人達が快適に生活するために、悩みに対する快適な方法を提案したら、快適に生活できるのか」という仮説を立てました。
人生最後の選択	私たちは尊厳死・安楽死など人生最後の選択について研究します。発表では課題、仮説、設定した理由、社会に及ぼす影響、事例、自分たちの取り組みを伝え、特に社会に及ぼす影響と自分たちの取り組みについては詳しく調べ、説明します。
SNSで町おこし	SNSを使ったむつ市の飲食店のPRを目的に主に活動し、地域の活性化・来客者数増加を図る。また、SNSでの活動による宣伝効果を調べる。 飲食店のPR方法…食堂マップ作成 SNSでの宣伝 (YouTube Twitter Instagram Facebook)
残業時間と労働意欲はどう関係するか	僕たちはブラック企業が多いことから残業をなくしたら意欲はあがるのかという疑問を解決し社会に良い影響を与え経済力をあげることに取り組みます。
健康寿命を伸ばすには	食事内容と食べる環境において精神的身体的により良い効果が得られ、健康寿命が伸びるのではないかと仮説のもと課題研究を行う。単に健康寿命を伸ばすだけではなく「食事」を関連付けることによって、より多くの人の興味をひく内容になると現段階で予想している。
日本の食品ロスについて	①日本の食品ロスの現状について説明 ②現社の授業で海外への食品供給量よりも日本の食品廃棄量が多いことを知り興味を持ったことを説明 ③食べ物を様々な保存方法で保存し長持ちする期間を調べてメリットとデメリットを比べることを説明 ④それをまとめたポスターを掲載し多くの人に知ってもらうことで家庭内の食品廃棄量が減少すると考えたことを説明 ⑤似たような調査をしている人を説明 ⑥協力者を説明 ⑦大根を様々な保存方法で約2週間保存する事を説明 ⑧調査後のポスター掲示やアンケートについての説明
イジメに対する考え方を考えるために	いじめの原因として「いじめる側の意識の低さや考え方の違い」などが挙げられる そのためいじめについての情報をしり、理解が深まればいじめが減ると思う まずは自分たちが調べ校内にポスターとして貼り生徒に見てもらおう。そしたら今起きているものもこれから起きるものも少なくなるのではないか
環境問題への意識を高めよう	私たちの班では、環境問題の深刻さについて多くの人の意識が低いと言うことを課題としました。そして、身近なゴミ問題に重点を置いて、ポスターや呼びかけをし検証をします。その結果からみんなの意識の向上が温暖化につながるかを調べます。
勉強のスケジュール管理	仮説をたてた理由として、テスト期間に焦ってやり始める人が多い、普段から勉強する習慣を身につけるため。この研究は勉強・生活習慣の改善 学力向上に繋げる。そのために自分たちはアプリを利用して検証していくことの説明。
平均寿命の改善～高校生からの長寿計画～	青森県は平均寿命が短く塩分の摂取量が多い。それによって引き起こされる生活習慣病も若年化が進んでいる。そのため、ターゲットを高校生とし高校生からの生活習慣病予防策として、運動と食生活の改善どちらが効果が高いのかを冬休みと夏休みを使って班のメンバーで実践してみる。
差別を無くすにはどうしたら良いか。	差別を無くすにはどうしたら良いのか、偏見を無くすために若い世代に現状を伝えることで差別を無くせるのか、世界で問題になっている差別は理解をすれば無くせるのか、考えました。
男女平等	私達のチームは男女平等について課題研究しようと思っています。始めに、見ている人に「男だから……」「女だから……」といったことを言われたことがないかを問いかけます。1つ目に、仮説である「男女を差別する発言を無くすポスターを貼ることで男女を差別する発言を無くすことが出来るのではないか」を提示します。 2つ目に、インターネットで見つけたグラフを提示し、事例を出します。 3つ目に、それらを無くす為にアンケートを取り、その結果を元にポスターを作りそれを貼り後にもう一度ポスターを貼り変化があったかどうかをアンケートを取る、と、具体的な内容を言います。 最後に、実施したいと思っている学校を言って終わります。
ストレスについて	まだしっかり決まってませんが、さまざまなストレスがたまる高校生がどのようなことをすればストレスに変化が起きるかを調べる。ストレスを計測できるアプリを使い、ストレスを数値にして可視化し、行動する前後のストレスの数値の変化をみて、必ずまではないか、みんなにおすすめできるストレス軽減方法を調べたい。

研究課題	内容の概要
16平和と公正を全ての人に	私たちの班は「今の1年次を更に明るい雰囲気にするにはどうすればいいか」という課題を立てました。私たちが1年次に積極的に思いやりを持って気配りや挨拶をしたら明るい雰囲気になるかという仮説を作りました。
運動と体重の関係性について	運動をすることによって体重の増減はあるのか、また、どのような運動をすれば体重が増えるのか、もしくは減らすことができるのかということを自分たちで様々な運動に取り組み、結果を元に関連付け、より健康的な体重のコントロールの方法を探求する
男女格差	男女格差と言えば女性が弱い立場にあるのを注目されますが、反対に男性が男女格差によってどんな被害があるのかを考えました。そして身近なことから解決することによって、男女格差を減らす第一歩になればと考えました。
猫背などの現代人が抱える身体的な問題の	猫背やストレートネックなどの現代人が抱える問題をインターネットなどに上がっているストレッチの動画などを実践することによって、改善されるのか。
むつ市でできる持続可能なまちづくり	SDGs11番に対しどのようなアプローチをするのか。課題に設定した理由。仮説とその仮説を立てるに至った経緯。自分たちの仮説に関係している、既に取り組まれている事例。それを踏まえて、自分たちが何をするのか。
漢字を書く能力	私たちは最近の若者は漢字読めても書く能力が衰退しているという課題を解決するために漢字を書く機会を増やせば記憶に定着させることができるという仮説をたて、課題研究していきます。またこの研究が成功すれば若者の漢字を書く能力の向上が望めるでしょう。
住み続けられるむつ市	私たちのグループは、住み続けられるむつ市をどのように作ると良いかという課題のもと研究してきました。発表内容は、①なぜこの課題を設定したか②この研究がどんな影響を与えるか③むつ市の取り組み④私たちが考える理想のむつ市です。
ゴミ問題の解決	私たちの班では今問題となっているゴミ問題について考えました。まず身近なゴミ問題として、田名部高校のゴミの捨て方を課題に挙げました。ゴミの捨て方やゴミ捨てに対する意識を調査し、問題を解決する手段を考えます。
音発電を発展させた利用方法	エネルギーを変換できる場所に着目し音の大きさを暖房のような熱に変換して、その変換した熱を駅などの設備の中で利用していくことができないかということ进行研究しています。
LGBTQの教育の未発達について	日本は、他の先進国に比べてLGBTQについての教育が遅れています。その原因は、周りの大人の理解不足によって、幼い頃から偏見が刷り込まれてしまうことだと考えました。そこで私たちは、小学生を対象に授業を行い、LGBTQ教育についての研究を行いたいと思います。
植物で気候変動を抑えよう！！	私達は気候変動の原因となるCO2が減らないという課題、気候変動を抑えるために私達が世界中の人々に向けてなるべく早めに世界中の火力発電所の近くに二酸化炭素を多く吸収すると言われているサボテンをどれくらい植えれば気候変動の原因となる二酸化炭素を減らすことができるのか？という仮説、私達が行う研究は、工場周辺をミニチュアで再現して育てた植物を配置してCO2の増減を調べる。
スマホの時間を減らそう！	私たちは学力をあげるためにスマートフォンの利用時間を減らすことで学力が向上するのではないかと考えました。田名部高校の現在の状況は、生活リズムが夜型の人が多く、多くの時間をスマートフォンに費やしています。その状況をふまえ、私たちが規則正しい生活リズムを推奨し、早寝早起きの習慣をつけてスマートフォンの利用時間を減らすことで、学力が向上するかどうかを調べます。
AIと健康管理	近年、AI(人工知能)の発達が著しい。また、学校では寝不足に悩んでいる人を多く目にする。私達は、これらの2つのテーマを結び付け、AIを使った睡眠管理ができるのではないかと考えた。実際には校内でAIを使用することは難しいため、私達がAIの代わりに資料分析などのシステムを実行する。それにより、AIが同様のシステムを使用した際の効果のある程度知ることができる。
生きるためには飲むしかなかった。	世界には安全な水が飲めない地域があります。そんな地域をすくうために、田名部高校の皆さんにウォーターエイドに寄付してもらいたいと思います。寄付を集めるために動画などをSNSで発信したいと思っています。
音読したりアプリを使って勉強することで	①紙の本を音読せずに暗記するグループ。②紙の本を音読しながら暗記するグループ。③アプリを利用して暗記するグループ。の3つのグループに分けて英単語のテストをします。そのテストの平均点を比較することで暗記するにはどの勉強方がいいかを調べて発表します。
「私たちの考える不平等をなくす取り組み	まずは設定した課題、そしてそれに基づいた自分達にできることを発表し、それがどうして課題に繋がるかを話します。それから、その取り組みが社会にどのような影響を及ぼすか、すでにある事例等を話します。最後に、以上をふまえた私たちの取り組みを発表します。

研究課題	内容の概要
田高生のリサイクルへの関心について	田高生がリサイクルに興味を持つ為に、ブロークウィンドウ理論を用いてゴミ拾いを行い、ポイ捨てされるゴミの量の推移を調べて発表したり、Instagramなどを通してリサイクルへの関心が高まるような話題などを田高生に伝える事で田高生のリサイクルへの関心が高まるかを調べて発表します。
フェアトレードの若年層の認知度を上げる	フェアトレードの若年層の認知度を上げるにより、フェアトレードの商品を買う機会が増え発展途上国の支援に繋がると私たちは考えている。また、日本のフェアトレードの認知度は世界各国からみても低い水準にある。それらを改善するにはどうすれば良いのかを考える。
LGBTQへの理解	LGBTQへの差別や偏見を無くすためにLGBTQについてより多くの人とこれからの時代を担う若い世代の人達に理解してもらう事を課題として、理解を得るためにはどのような方法があるのか また、どのような事が必要なのか等を研究課題としています。
火力発電に代わる新たなグリーンエネルギーを創る	日本の発電事情→火力発電の特徴→新たな発電法→太陽に注目→太陽電池の特徴→ペルチェ素子を用いた発電ユニット→検討事項→実験方法
川は綺麗になるのか。	むつ市の特定の川にゴミが多いため、ポスター等の方法を用いれば川は綺麗にします。 川を綺麗にすることにとり、むつ市の環境が良くなり、観光客や市の発展に繋がるため、やることにした。
LGBTQへの差別や偏見を無くすために	日本では同性婚が認められていなかったり、LGBTQへの偏見によって生きづらさを感じる人がいます。そこで、LGBTQへの偏見を無くすため、身近な問題で他人事ではないということを感じてほしいため、LGBTQのについての知識や考え方を主な内容とするポスターを校内にけいじし、田高生のLGBTQに対す考え方や意識の変化を調査します。
ストレスを解消できれば、成績が良くなる	ストレスが溜まることによって、それが成績にも影響してしまっているのではないかと考え、ストレスを発散することができれば成績も良くなるのではないかとという仮説をたてました
漁業の公正な取り引きを守る	密漁は自分勝手に行われているため、海の資源の持続性がない。そして、漁師が限られた捕獲量の中で密漁が行われると、漁師が不利益になってしまうことに加え、市場では、密漁された魚類などが出回り、公正な取り引きが失われているから漁業の公正な取り引きを守るという課題を設定した。 自分達が、漁業捕獲者シールを作ることで、密漁によって売られている商品ではないことが証明され、消費者が安心して、商品を購入することが出来る。 企業による取り組みでは、ドローンによる密漁者探知や、監視カメラの設置などが挙げられる。 自分達の研究では、漁業捕獲者シールを作り、密漁の防止、密漁した時の罰則の提示を行う。
私たちにできることで食料不足の解決	SNSを使って飢餓をゼロにする取り組みをして田名部高校生が飢餓についてもっと興味を持ってくれるためにどんなことをすればいいのかを発表します。またすでに行なっていることなど、事例なども詳しく説明します。
日本人の英語力の低さ	日本人の英語力が低いという課題より、「田高生のリスニング力・スピーキング力向上に向けてアプリを活用し毎日英語学習に取り組みばリスニング力・スピーキング力は向上するか。」という仮説を立てアプリを使って研究しようと思います。
二人三脚で歩むなら	どうしてこの学校を選んだのか？また、他地区という選択肢があったのか？など、親の高校選択の際の意識を確認した後、親の理解が必要な理由を説明する。その後、4つの質問をもとに自分たちのやりたい研究について説明する。テーマは、進路の重要性について理解してもらえれば、「田高生の親と生徒の進路先に対する意識の差をなくせるのではないか？」
青森県の健康意識をあげよう！	人間ドックを受けた人と受けていない人を表したグラフを提示する。そのグラフから受けていない人がおよそ半数いるということを説明する。このようなグラフから青森県の健康意識をあげることをタイトルとして、短命県から脱出しようという目標をあげます。
空き缶のリサイクルについて	地球温暖化防止に努めるために、空き缶のリサイクル方法について調べたことを発表します。過去に特許を取った方のリサイクル方法を参考にして、私たちが付け加えて改良したものを発表します。